

## 全国月間火山概況（平成 25 年 3 月）

霧島山（新燃岳）では、今期間、噴火の発生はありませんでした。火山性地震は、3月5日から8日にかけて一時的に増加しましたが、地殻変動観測や火山ガスの状況などに特段の変化はありませんでした。新燃岳の北西数 km の地下深くにあると考えられるマグマだまりへの深部からのマグマの供給は停止した状態が続いています。しかし、火口には多量の溶岩が溜まっており、火口直下の火山性地震がわずかながらも続いていることから、現在でも小規模な噴火が発生する可能性は否定できません。新燃岳火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。火口周辺警報（噴火警戒レベル 3、入山規制）が継続しています。

桜島では、爆発的噴火を含む活発な噴火活動が継続しました。昭和火口及び南岳山頂火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。火口周辺警報（噴火警戒レベル 3、入山規制）が継続しています。

三宅島では、火山ガス放出量は、長期的に減少傾向にあり、2月以降はやや少量となっています。火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）が継続しています。

硫黄島では、島西部の旧噴火口（通称：ミリオンダラーホール）で、6日に新たな陥没孔が確認されました。5日から6日にかけて、陥没を伴いながらごく小規模な水蒸気爆発が発生したと推定されます。国土地理院の観測によると、地殻変動はほぼ停滞していましたが、2013年1月頃から、わずかに隆起の傾向がみられています。火口周辺警報（火口周辺危険）が継続しています。

箱根山では、駒ヶ岳から仙石原付近の浅部を震源とする地震活動は、今期間は概ね少ない状態で経過しました。現時点では、噴煙等の状況に特段の変化はみられず、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）が継続しています。

択捉焼山では、29日に気象衛星画像で海拔約 2000m の高さの噴煙が観測されました。択捉焼山で噴火が発生した可能性があります。

その他の火山の活動状況に特段の変化はありません。

4月7日現在の各火山の噴火警報及び噴火予報等の発表状況は表1のとおりです。

**表 1 4月7日現在の噴火警報及び噴火予報等の発表状況**

警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル 3（入山規制）	霧島山(新燃岳)、桜島
	レベル 2（火口周辺規制）	三宅島、諏訪之瀬島
	火口周辺危険	硫黄島
噴火警報(周辺海域)	周辺海域警戒	福徳岡ノ場
噴火予報	レベル 1（平常）	雌阿寒岳、十勝岳、樽前山、有珠山、北海道駒ヶ岳、岩手山、秋田駒ヶ岳、吾妻山、安達太良山、磐梯山、那須岳、草津白根山、浅間山、新湯焼山、焼岳、御嶽山、富士山、箱根山、伊豆東部火山群、伊豆大島、九重山、阿蘇山、雲仙岳、霧島山(御鉢)、薩摩硫黄島、口永良部島、
	平常	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山、摩周、アトサヌプリ、雄阿寒岳、丸山、大雪山、利尻山、恵庭岳、倶多楽、羊蹄山、ニセコ、恵山、渡島大島、恐山、岩木山、八甲田山、十和田、秋田焼山、八幡平、鳥海山、栗駒山、鳴子、肘折、蔵王山、沼沢、燧ヶ岳、高原山、日光白根山、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、弥陀ヶ原、アカンダナ山、乗鞍岳、白山、利島、新島、神津島、御蔵島、八丈島、青ヶ島、ベヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、嬬婦岩、西之島、海形海山、海徳海山、噴火浅根、北福徳雄、南日吉海山、日光海山、三瓶山、阿武火山群、鶴見岳・伽藍岳、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄島、西表島北北東海底火山、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山

※印を付した火山は火山現象に関する海上警報も発表中。



図1 噴火警報及び火山現象に関する海上警報発表中の火山

### 【各火山の活動状況及び予報警報事項】

全国の主な火山の活動状況及び予報警報事項は以下のとおりです。その他の火山については、火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

#### 箱根山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

駒ヶ岳から仙石原付近の浅部を震源とする地震活動は、2月中旬以降は概ね少ない状態で経過しました。気象庁の体積ひずみ計や、気象庁及び神奈川県温泉地学研究所の傾斜計による地殻変動観測では、1月上旬頃から、山体の膨張を示すわずかな変化がみられていますが、2月中旬頃から鈍化する傾向がみられています。国土地理院の地殻変動観測結果では、2012年末頃から、箱根山周辺の一部の基線にわずかな伸びの傾向がみられていますが、2月下旬頃から鈍化する傾向がみられています。

箱根山では、2001年6月から10月にかけて地震が多発し、国土地理院等の地殻変動観測結果でも山体の膨張を示す変化がみられ、噴気活動が活発化しました。現時点では、観測されている地殻変動は小さく、噴煙等の状況に特段の変化はみられず、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

#### 三宅島 [火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)]

山頂火口からの噴煙高度は、火口縁上概ね100～200mで経過しました。7日及び22日に実施した現地調査では、二酸化硫黄の放出量は1日あたりそれぞれ400トン、300トンで、今期間も火山ガスが観測されました。火山ガス放出量は、長期的に減少傾向にあり、2月以降はやや少量となっています。また、三宅村によると、山麓ではまれにやや高濃度の二酸化硫黄が観測されています。

全磁力連続観測では、火山体内部の熱の状況に大きな変化は見られませんでした。

火山性地震は概ね少ない状態で経過しました。震源は山頂火口直下に分布し、これまでと比べて特に変化はありませんでした。火山性微動は観測されませんでした。

GPS連続観測によると、2000年以降、山体浅部の収縮を示す地殻変動は徐々に小さくなりながら現在も継続しています。島の南北を挟む長距離の基線で2006年頃から伸びの傾向がみられるなど、山体深部の膨張を示す地殻変動が継続しています。

火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されますので、山頂火口周辺(雄山環状線内側)では

噴火に警戒してください。また、火山ガス予報で火山ガスの濃度が高くなる可能性があるとして予想される地域では火山ガスに警戒してください。

### **硫黄島 [火口周辺警報(火口周辺危険) 及び火山現象に関する海上警報]**

島西部の旧噴火口（通称：ミリオンダラーホール）で、6日に新たな陥没孔が確認されました。5日から6日にかけて、振幅のやや大きい火山性地震が幾つか発生したことから、この間に陥没を伴いながらごく小規模な水蒸気爆発が発生したと推定されます。

国土地理院の観測によると、地殻変動はほぼ停滞していましたが、2013年1月頃からわずかに隆起の傾向がみられています。

硫黄島の島内は全体に地温が高く、多くの噴気地帯や噴気孔があり、過去には各所で小規模な噴火が発生しています。火山活動はやや活発な状態で推移しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されますので、2012年4月末に新たに噴気が確認された島北部や変色水がみられた北東沖、従来から小規模な噴火がみられていた島東部の海岸付近、島西部（旧噴火口等）及び南東沖（翁浜沖）では噴火に警戒してください。

### **福徳岡ノ場 [噴火警報(周辺海域) 及び火山現象に関する海上警報]**

海上自衛隊が8日に実施した上空からの観測によると、福徳岡ノ場付近の海面に火山活動によるとみられる湧出点付近において、半径約500m程度の乳白色及び青色の変色水域が確認されました。

また、26日に海上保安庁が実施した上空からの観測では、福徳岡ノ場付近の海面に火山活動によるとみられる湧出点付近において、幅約500m、長さ約1,500m程度の帯状の乳白色、薄青色、薄緑色の変色水が確認されました。

福徳岡ノ場では長期にわたりしばしば火山活動によるとみられる変色水や浮遊物が確認されており、2010年2月3日には小規模な海底噴火が発生しています。今後も小規模な海底噴火が発生すると予想されますので、周辺海域では噴火に対する警戒が必要です。

### **霧島山（新燃岳） [火口周辺警報(噴火警戒レベル3、入山規制)]**

新燃岳では、今期間、噴火は発生しませんでした(最後の爆発的噴火は2011年3月1日、噴火は2011年9月7日)。噴煙活動に特段の変化はなく、白色の噴煙が火口縁上50m以下で経過しました。

6日と12日に実施した現地調査では、二酸化硫黄は検出されませんでした。(前回2月7日：検出なし)。

火山性地震は、振幅の小さなものが5日から8日にかけて一時的に増加し、月回数は263回(2月：25回)でした。震源のほとんどは火口直下と推定されます。火山性微動は2012年3月以降観測されていません。

国土地理院の広域的な地殻変動観測結果では、新燃岳の北西地下深くのマグマだまりへのマグマの供給に伴う地盤の伸びの傾向は2011年12月以降鈍化・停滞しています。「えびの」－「牧園」、「牧園」－「都城2」の基線で、2012年5月頃からわずかに縮みの傾向が見られていましたが、同年9月頃から停滞しています。

新燃岳の北西数kmの地下深くのマグマだまりへの深部からのマグマの供給は停止した状態が続いています。しかし、火口には多量の溶岩が溜まっており、火口直下の火山性地震がわずかながらも続いていることから、現在でも小規模な噴火が発生する可能性は否定できません。新燃岳火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。噴火時には、風下側で火山灰だけではなく小さな噴石(火山れき)が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。また、降雨時には泥流や土石流に警戒してください。

### **桜島 [火口周辺警報(噴火警戒レベル3、入山規制)]**

昭和火口では、活発な噴火活動が継続しました。噴火の回数は74回(2月：132回)で、そのうち爆発的噴火の回数は61回(2月：119回)と多い状態でした。11日17時07分の爆発的噴火では、大きな噴石が3合目(昭和火口から1,300m～1,800m)まで達しました。また、夜間に高感度カメラで明瞭に見える火映を時々観測しました。なお、南岳山頂火口では、噴火は発生しませんでした。

火山性地震の月回数は552回(2月：746回)と少ない状態で経過しました。噴火に伴う火山性微動が発生しており、月回数は321回(2月：321回)でした。

21日に実施した現地調査では、二酸化硫黄の放出量は1日あたり2,800トン（2月：800～1,900トン）と多い状態でした。

有村観測坑道の水管傾斜計（大隅河川国道事務所設置）では、2012年8月頃から山体が沈降する傾向が認められていましたが、2013年1月頃から停滞し、2月頃から隆起の傾向となっています。GPS連続観測では2012年10月頃から桜島島内のわずかな縮みの傾向が見られましたが、2013年1月頃から鈍化しています。また、国土地理院の地殻変動観測結果によると、始良カルデラ（鹿児島湾奥部）深部の膨張は2012年11月頃から停滞しているように見えますが、一部の基線ではわずかながら伸びの傾向が続いています。

鹿児島地方気象台での観測では、降灰の月合計は8g/m<sup>2</sup>（降灰日数5日）でした。鹿児島県が実施している降灰の観測データから推定した、火山灰の2013年2月の総噴出量は約80万トンで、1月（約40万トン）に比べ増加しました。

昭和火口及び南岳山頂火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石（火山れき）が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。爆発的噴火に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。また、降雨時には土石流に注意してください。

### **諏訪之瀬島【火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)】**

御岳火口では、噴火は発生しませんでした。

噴煙活動に特段の変化はなく、白色の噴煙が火口縁上200～300mで経過しました（最高300m）。また、同火口では期間を通して夜間に高感度カメラで確認できる程度の微弱な火映を観測しました。

火山性地震は、少ない状態で経過しています。火山性微動は2012年9月28日からほぼ連続して発生しています。

御岳火口では、長期にわたり噴火を繰り返しており、今後も火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

### **択捉焼山【噴火予報】**

29日に気象衛星画像で海拔約2000mの高さの噴煙が観測されました。択捉焼山で噴火が発生した可能性があります。

（火山の順は活火山総覧（第3版）による）

資料1 全国の火山の噴火警報及び噴火予報の発表状況のまとめ（平成25年4月7日現在）

(1) 主な活火山

	火山名	噴火警報及び噴火予報の発表状況	噴火警報及び噴火予報の発表履歴
北海道地方	アトサヌプリ	噴火予報（平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	雌阿寒岳	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2008年9月29日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年10月17日 噴火予報（平常） 2008年11月17日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年12月16日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年4月10日 噴火予報（レベル1、平常）
	大雪山	噴火予報（平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	十勝岳	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2008年12月16日 噴火予報（レベル1、平常）
	樽前山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
	倶多楽	噴火予報（平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	有珠山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2008年6月9日 噴火予報（レベル1、平常）
	北海道駒ヶ岳	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
	恵山	噴火予報（平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
東北地方	岩木山	噴火予報（平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	秋田焼山	噴火予報（平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	岩手山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
	秋田駒ヶ岳	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2009年10月27日 噴火予報（レベル1、平常）
	鳥海山	噴火予報（平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	栗駒山	噴火予報（平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	蔵王山	噴火予報（平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	吾妻山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
	安達太良山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2009年3月31日 噴火予報（レベル1、平常）
	磐梯山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2009年3月31日 噴火予報（レベル1、平常）
	関東・中部地方	那須岳	噴火予報（レベル1、平常）
日光白根山		噴火予報（平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
草津白根山		噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常） 2009年4月10日 噴火予報（レベル1、平常）切替
浅間山		噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常） 2008年8月8日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年2月1日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年2月3日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2009年4月7日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年4月15日 噴火予報（レベル1、平常）
新潟焼山		噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2011年3月31日 噴火予報（レベル1、平常）
焼岳		噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2011年3月31日 噴火予報（レベル1、平常）
乗鞍岳		噴火予報（平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
御嶽山		噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2008年3月31日 噴火予報（レベル1、平常）
白山		噴火予報（平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
富士山		噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
箱根山		噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2009年3月31日 噴火予報（レベル1、平常）
伊豆東部火山群		噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2011年3月31日 噴火予報（レベル1、平常）

	火山名	噴火警報及び噴火予報の発表状況	噴火警報及び噴火予報の発表履歴
伊豆・小笠原諸島	伊豆大島	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
	新島	噴火予報（平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	神津島	噴火予報（平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	三宅島	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年3月31日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	八丈島	噴火予報（平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	青ヶ島	噴火予報（平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	硫黄島	火口周辺警報（火口周辺危険）	2007年12月1日 火口周辺警報（火口周辺危険）
	福徳岡ノ場	噴火警報（周辺海域警戒）	2007年12月1日 噴火警報（周辺海域警戒）
	九州地方・南西諸島	鶴見岳・伽藍岳	噴火予報（平常）
九重山		噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
阿蘇山		噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常） 2011年5月16日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2011年6月20日 噴火予報（レベル1、平常）
雲仙岳		噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
霧島山（新燃岳）		火口周辺警報（レベル3、入山規制）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常） 2008年8月22日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年10月29日 噴火予報（レベル1、平常） 2010年3月30日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年4月16日 噴火予報（レベル1、平常） 2010年5月6日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2011年1月26日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2011年1月31日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2011年2月1日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2011年3月22日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2012年6月26日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替
霧島山（御鉢）		噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
桜島		火口周辺警報（レベル3、入山規制）	2007年12月1日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年2月3日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年2月20日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年4月8日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年7月14日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年7月28日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年8月28日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年2月2日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年2月19日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年3月2日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年3月10日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2009年4月24日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年7月19日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2010年9月30日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年10月13日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2012年3月12日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2012年3月21日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替
薩摩硫黄島		噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2012年11月29日 噴火予報（レベル1、平常）
口永良部島		噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年1月25日 噴火予報（レベル1、平常） 2008年9月4日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年10月27日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年3月18日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年8月4日 噴火予報（レベル1、平常） 2009年9月27日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年10月30日 噴火予報（レベル1、平常） 2011年12月15日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2012年1月20日 噴火予報（レベル1、平常）
諏訪之瀬島		火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）

注）噴火警報及び噴火予報の発表履歴欄には、平成19年12月1日の噴火警報・噴火予報及び噴火警戒レベルの運用開始からの経過を示す。この表では、主な活火山として、警報を発表している、または常時観測を行っている火山を示している。また、ここで示すレベルは噴火警戒レベルである。

## (2) その他の活火山

以下の活火山（\*印を除く）では平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表しました。また、\*印の活火山では、活火山として選定された平成 23 年 6 月 7 日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、いずれも火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

	火 山 名
北海道地方	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山*、摩周、雄阿寒岳*、丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山
東北地方	恐山、八甲田山、十和田、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳
関東・中部地方	高原山、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、弥陀ヶ原、アカンダナ山
伊豆・小笠原諸島	利島、御蔵島、ベヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、嬬婦岩、西之島、海形海山、海徳海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山
中国・九州地方 及び南西諸島	三瓶山、阿武火山群、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄鳥島、西表島北北東海底火山